

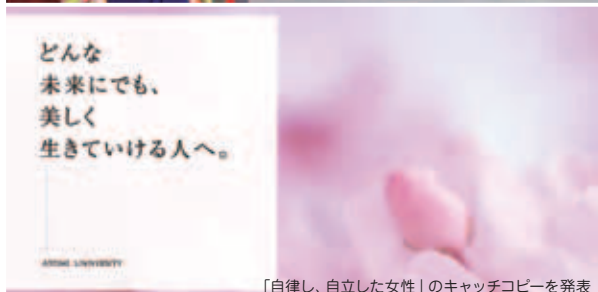
# 跡見学園女子大学 学報



2020年3月18日 卒業生の様子



2020年5月11日オンライン授業を開始



「自律し、自立した女性」のキャッチコピーを発表



WEBオープンキャンパスページを開設

令和元年度末から現在に至るまで、全世界的に広まった新型コロナウイルスの影響を受け、本学も3月18日(水)に予定していた令和元年度第52回学部卒業式・第14回大学院修了式を文京シビック大ホールで挙行することができませんでした。同日に文京キャンパスで学位記を受領し、学部卒業生831名、大学院修了生16名、計847名が本学から社会に羽ばたいていきました。

令和2年度に入り、学部新生1,102名、編入学生6名、大学院修士課程新生12名、計1,120名を迎える予定をしていた第56回入学式を挙行することができず、新生生の皆さんにお目にかかれなかったという今までに経験したことのない年度の幕開けとなりました。オリエンテーションをはじめとする年度当初の行事も実施が叶わず、5月11日(月)にオンラインによる授業を開始しました。サポート体制として「オンライン授業学生支援窓口」を開設し、学園からは修学支援金を支給するなど、本学教職員一同は在学生の皆さんにできる限りのサポートを行っております。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めていただき、在学生の活気あふれる姿を一日も早くキャンパスにお迎えできる日を教職員一同待ち望んでおります。

## 記事内容

○コロナ問題に対する大学の対応 .....	2
○役職者一覧 ○新学部長・新センター長挨拶 .....	3
○地域交流活動の紹介 ○国際交流活動の紹介 .....	4
○2019年度就職活動総括と今後 .....	5
○2020年度新任教職員 .....	6
○他機関からの異動職員 ○大学を離れた方々 ○留学の記 .....	7
○跡見花蹊記念奨学生表彰 ○学生の表彰 .....	8
○学生会情報 ○CLUB NOW ○紫祭の中止について .....	9
○2020年度科学研究費補助金にかかる研究内容の概要 .....	10
○2020年度入試結果 ○2021年度入試概要 .....	11
○行事予定 ○科目等履修生についてのご案内 ○資料館コレクション .....	12

## 新型コロナウイルスと大学

— 新しい大学像への模索 —

学長 笠原 清志

新型コロナウイルスの影響により、跡見学園女子大学では卒業式と入学式を共に中止しました。新生、保証人の皆様の気持ちを考えると大変申し訳なく思いますが、諸般の事情を考慮した苦渋の選択であったことをご理解ください。今、私たちは不確実性の時代を生きると共に、他方で新しい生き方と社会システムのあり方を求めて呻吟しています。今回のことが教職員、学生の皆さんも含め、「今、日本と世界で何が起きているのだろうか」「自分はこれからどう生きていくべきなのか」といった事を考えるきっかけになればと願っています。

### 1) 大学の閉鎖

昨年の12月上旬に、中国の武漢でウイルス感染が発生した事を知らせるニュースを聞いた記憶があります。しかし、それは中国の遠い一都市での出来事であり、私たち日本人の誰もが自分の生活に被害が及ぶとは、ましてやこのウイルス禍がパンデミックになり、世界を恐怖と不安のどん底に追いやることになるとは想像すらできなかったと思います。武漢のニュースから2、3か月後には、この新型肺炎ウイルスは世界に拡散し、日本でもすべての学校と大学の授業や行事が中止となりました。企業や工場もその活動が制約され、4月7日には緊急事態宣言が発せられ、街から人が消えて大学も閉鎖されました。

### 2) オンライン教育の実施

跡見学園女子大学では、春学期授業スタートは5月11日より、それも全ての授業をオンライン教育で実施する事が決まりました。大学が閉鎖されている以上、授業はインターネットを介した遠隔授業で行う以外に、ほぼ一ヶ月半の準備期間でオンライン教育に移行しました。語学から情報科目、そして体育も含む実技科目の一部もオンラインで行う事になりました。跡見学園女子大学の伝統的教養科目である茶道、華道、そして香道もオンラインで授業ができないか検討されました。その結果、香道は無理でしたが茶道や華道は工夫努力してもらい、オンライン教育で実施するか秋学期開講に移動してもらいました。ところが、いざ実施の段階になりますと、二つの問題が明らかになりました。

第一は、学生全てがオンライン教育に対応した情報端末と情報環境を備えていなかった事です。第二は、私のような情報機器に疎い先生にとっては、動画配信も含む双方向の授業など技術的に困難であるという事がはっきりしました。第一の問題については、全学生に対して一律5万円の修学支援金の支給によって、第二の問題についてはパワーポイントや動画の作成、そしてズームやTeamsの設定の仕方などの研修を開催し対応する事となりました。今後、第二波、第三波の襲来も予想されているところから、オンライン教育は今後も維持せざるを得ないと思われます。従って、今後の大学教育は従来の対面授業と放送大学的なオンライン教育とを組み合わせたとような形態になっていくのではないのでしょうか。

変化は時代の流れとともに、避けられないものです。変えてはいけない大切なものは何か、そして環境変化に対応して変えていかなければならないものは何か、が問われているように思います。今までの生物の歴史は、環境変化に対応し、自らを変化・適応してきたものだけが生き残ってきたと言われていました。組織、企業、そして大学も例外ではありません。コロナ禍をきっかけに、日本では新しい大学像への模索が始まったと思われます。

### 3) 出会いは偶然ではない

今年の入学式で、私は新生の皆さんに語りたかったことがありました。それは、人生では一歩踏み出す勇気が必要であること、そして人と人との出会いは偶然のように見えますが、決して偶然ではないと言うことです。出会いとは、自分が大切にしていたものが何かのきっかけで触発され、見えない糸で導かれるような形で一歩踏み出した結果なのかもしれません。また、出会いは偶然であってもそこから何が生まれるかは、偶然ではない、ということです。

学生生活では、「一歩踏み出す勇気」から学びが始まります。日本の文化を良く理解し、凛とした美しさを持ち、そして「自律し自立した女性」を目指して、これからの学生生活をスタートしてください。教養とは、多くのことを知っているという意味ではありません。真の教養とは、「自分を見つめるもう一人の自分を持つこと」ではないのでしょうか。何が起るか予測できない時代、つまり不確実性の時代にある私たちは、今まで以上に真の教養と自らの力によって個人を確立しなければなりません。

### 4) 対面授業の再開を目指して

新生だけでなく、在校生の皆さんも大学が閉鎖された今日の状況に当惑していると思います。とりわけ4年生の皆さんは、就職活動の時期を迎え不安な毎日を送っているのではないのでしょうか。現在、就職課がこのような皆さんの不安に対応すべく、WEBその他で個別相談のコーナーを設置しています。大学のHPにアクセスし、それぞれの部署の掲示を参考にしてください。

今後は、政府、文科省の指示に従って、図書館やPC教室の一部開放、新生の学科別オリエンテーションの実施、そして段階的な対面授業のスタートを通じて、本来の大学教育の再開を目指していきます。跡見学園女子大学は、保証人の皆様から託されたご息女の教育に全力を尽くし、どのような状況でもその社会的責任を果たしていく所存です。今後ともよろしくお願い致します。



新座キャンパス



文京キャンパス

## 役職者一覧 (2020年4月1日現在)

●学長	笠原 清志	●情報メディアセンター長	伊藤 稜
●副学長	曾田 修司	●心理教育相談所長	松崎くみ子
●文学部長(新任)	石田 信一	●地域交流センター長	土居 洋平
●マネジメント学部長(新任)	丸岡 吉人	●教務部長	阿部 洋子
●観光コミュニティ学部長(新任)	坪原 紳二	●学生サポートセンター長(新任)	石崎 裕子
●心理学部長	野島 一彦	●就職部長	村上 雅巳
●全学共通科目運営センター長(新任)	吉澤 京子	●入試部長(新任)	齋田 統
●図書館長	矢島 新宏	●IR・大学資料室長	笠原 清志
●花蹊記念資料館長	村田 宏	●広報室長	富川 淳子
		●事務局長(新任)	渡邊 泰教

### 文学部長挨拶

## 主体的な学びの重要性



文学部長 石田 信一

文学部は1875年に学祖・跡見花蹊によって創立された跡見学校を起源とし、1965年に創設された女子大学の歴史とともにあって「跡見らしさ」の原型となってきました。現在では人文学科、現代文化表現学科、コミュニケーション文化学科という3学科体制の下で、日本の伝統文化を踏まえ、豊かな教養と自由な精神を持つ自律し自立した女性を育てようとした跡見花蹊の教育理念を継承して教育・研究活動を続けています。

文学部は人間形成に関わる学識や技能をそなえ、豊かな心と表現力で文化の創造に寄与し、社会に貢献できる能力、人間が直面するいろいろな問題について積極的に考え、その解決に向けて主体的に努力する能力、そして自らの考えを論理的にまとめ、明解な方法で表現できる能力の獲得を教育目標としてきました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会全体の大きな変化の中において、文学部における論理的思考力や問題解決能力を重視した、普遍性を持った主体的な学びの重要性が増しているように思います。

文学部は時代の波に翻弄されることなく、これまで積み重ねてきた教育・研究活動のさらなる向上をめざして努力を続けていきます。どうぞよろしく願いいたします。

### 観光コミュニティ学部長挨拶

## 持続可能な観光へ



観光コミュニティ学部長 坪原 紳二

「観光」と「コミュニティ」はこの10年ぐらいの間、時代のキーワードとなってきました。観光については、アジアでの中間層の拡大、旅行費用の低廉化、ネット予約の普及などが相まって、世界的な観光ブームが起きていました。コミュニティの方は、少子高齢化の進展、国家・地方財政の悪化、さらには自然災害の増大などを背景に、地域の力が期待されるようになりまして。2015年に本学部が設立される際、これら二つのキーワードを結び付けたのは、観光と地域とは本来、相互に補完し合う関係にあると考えたからです。つまり観光が地域を豊かにし、また地域を豊かにすることが観光を生む、という考えです。

ところがその後、観光客が特定の都市に押し寄せるようになり、世界各地で観光と地域の摩擦が起きました。そんな時に襲ったのが、新型コロナウイルスの世界的流行で、観光客は瞬間に消え去りました。

観光ブームの背後には構造的要因がありますから、いずれ観光は復活してくるでしょう。しかしコロナをきっかけに、観光と地域の関係を持続可能なものへと転換する必要があります。それは本学部の設立以来の任務でもあります。オンラインで、コロナ後にはキャンパスで、そしてキャンパスを超えてフィールドで、ともに観光と地域の新しい関係を探りましょう。

### マネジメント学部長挨拶

## 学び方を学ぶ



マネジメント学部長 丸岡 吉人

マネジメント学とは、人々が力を合わせてよいことを実現するための理論や技術の体系です。特徴は、総合性。マネジメント活動はいわば、総合芸術、総合格闘技です。マネジメント対象が企業経営でも、公共目的でも、文化プロジェクトでも、さまざまな学問分野の知識や成果を統合してマネジメントが行われます。そのために、本学部ではさまざまな専門領域を持つ教員が教育と研究にあたっています。

もしかすると、大学4年間で、それほどに広範な学問分野を習得できるのかと心配になった方がいるかもしれません。残念ながら、その心配は当たっています。実は、どれほど真剣に学んだとしても、環境変化が激しく、しかも人生100年時代の今、20歳前後の学びだけでは長い人生を生き抜いていけません。

大切なことは、学び方を学ぶこと、そして、学ぶ習慣を身に着けることです。そうすれば、大学を卒業してからも、何歳になっても、学び続け学び直して常に新しい知恵を自分のものにしておけます。

学生、院生の皆さん、マネジメントの知識や技術だけでなく、学び方も学んでください。マネジメント学部の教職員は、それを全力で支援いたします。

### 全学共通科目運営センター長挨拶

## 多様で豊かな教養を



全学共通科目運営センター長 吉澤 京子

全学共通科目には、新入生が学祖跡見花蹊について学ぶ「花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン」、外国語科目やプロゼミ、情報リテラシー等、学生が大学での学びを構築するために不可欠な知識やスキルを身につける科目が含まれますため、当職の責任は大きいと思ひ身の引き締まる思いがいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大という事態のなか、本学でも4月早々、春学期のすべての科目をオンライン授業とする学長の決断がなされました。

ITを介してのみ教員と学生のコミュニケーションが成立するわけですから、学生たちはついてきてくれるだろうか、と当初は半信半疑の部分もございました。

しかし、学生たちの反応を見ますと、友人らと机を並べての学びを懐かしがり、早くもとの形の授業を再開してほしいと意見を表明しながらも、自宅で課題に一人向き合い自己を研ぎ澄ませることで、飛躍的な成長を見せてくれる学生も多々いるように見受けられます。学生たちのしなやかな状況対応力に驚くばかりです。

先の見えない時代を生きるために必要なものは、スキルも含めた広い意味での「教養」ではないかと思ひます。そして、全学共通科目の存在意義も、多様で豊かな教養を学生に提供することこそあるのではないかと考えています。

## 地域交流センターの取組み紹介 ~コロナ禍の時代に注目されるコミュニティの力~

地域交流センター長 土居 洋平

本学地域交流センターは、昨年4月に組織体制が拡充され、現体制になって2年目を迎えました。昨年度は、新たに地域交流課や地域交流センター運営委員会が設置され、日常的に学部を超えた地域交流活動に関する情報共有を図ることができました。また、センター主催のFD講習会を実施し、学内の地域交流活動の先進的な取組みのポイントを共有したり、地域交流活動に関わる手順や手続きについても学内で幅広く共有することができました。さらに、昨年度、センターでは2冊の報告書を出しております。1冊は、昨年12月に実施しましたシンポジウム「東日本大震災と「記憶」の記録化―試みとしての地域史・写真展・記憶地図・街の復元―」を記録したブックレットです。形だけではない復興のためには、過去の記憶をどう記録として残していくかが重要という観点から、様々な具体的な取組みをもとに記憶の記録化に迫る内容のものとなっています。もう1冊は、本学の一年間の地域交流活動の成果をとりまとめた「地域交流センター年次報告書 ゆかり」です。今回は、地域交流センターが本学に設立された経緯や、菊坂跡見塾の歴史、そして一年間の本学の地域交流活動の記録等が掲載されております。年次報告書は、毎年刊行し、本学の地域交流活動をしっかりと記録として残していければと考えています。

しかし、今年度の地域交流活動は、コロナ禍の影響によって多くが延期や中止となっています。春学期に実際に地域に出る活動は、全て延期または中止になっていますし、夏以降の活動の見通しもまだ立っていません。一部の活動では、今年度の活動が中止されたことにより、地域の方々と築いてきた関係や先輩から後輩に受け継いできた様々なノウハウが失われてしまうことが危惧されています。地域交流センターでは、まずはコロナ禍による地域交流活動への影響と課題を明らかにし、それに基づき対処や支援を検討すべく、夏休み前を目途に学内調査を実施する準備を進めているところです。

一方で、一部、オンラインで継続している地域交流活動もあります。茗荷谷キャンパスから徒歩15分程度に位置する千石三丁目では、今夏、地域の居場所となることを目指した施設がオープンします。この活動には、社会福祉協議会や企業、町内会、地域の有志が協働で関わっていますが、本学も様々な形で協力をしています。現在、オンライン会議でオープン後の企画や運営方法などを検討しています。その際に、何度も指摘されているのが、今回のコロナ禍で人びとが気軽に集まれなくなったことが、集まることや人とつながること、コミュニティの重要性を再認識させているということです。コロナ禍が収束すれば、これまでを取り戻すように、人とのつながりを求めコミュニティに根差した活動が活発になるかもしれません。地域交流センターも、その日に向けて、今できることに力を入れていきたいと考えています。



地域交流センター年次報告書  
ゆかり 第1号

## 国際交流活動の紹介

### 2019年度春期海外研修の報告

2019年度の春期海外研修は、英国国立スターリング大学（研修期間：2020年2月14日～3月23日、参加人数：26名）、ローワーコロンビアカレッジ（研修期間：2020年2月16日～3月10日、参加人数：17名）、ミュンヘン大学（研修期間：2020年2月16日～3月16日、参加人数：6名）の3か国・3大学で実施されました。世界的な流行となった新型コロナウイルス感染対策の影響を受け、一部行程の変更を余儀なくされましたが、全員が無事に研修を終えて帰国しました。



春期海外研修（スターリング大学研修）の様子

### 【2020年度国際交流活動の報告】

#### 《2020年度夏期海外研修の中止について》

2020年度夏期海外研修は、英国国立スターリング大学（イギリス・スターリング）、ローワーコロンビアカレッジ（アメリカ・ロングビュー）、西部カトリック大学（フランス・アンジエ）、国立政治大学（台湾・台北）、国立台湾師範大学（台湾・台北）、東義大学校（韓国・釜山）の5ヶ国・地域、6大学にて実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、大変残念ですが、全て中止となりました。今回の研修に参加を希望し、心待ちにしていた学生の皆さん、今後の参加を検討していて、説明会には参加しようと思っていた方もたくさんいることと思います。国際交流課では、研修先紹介コンテンツの作成、オンライン英会話サロンの開室など、海外との交流の場をオンライン上で提供しています。是非これらを活用し、海外への興味や、外国語学習への意欲を持ち続けてください。少しでも早く次回以降の海外研修実施を皆さんに案内出来るよう、これからも取り組んでまいります。

#### 《オンライン英会話サロン開室報告》

本学では、従来、新座・文京の各キャンパスで「英会話サロン」を開室しています。英会話サロンは、外国人の先生と自由な話題で英語で会話出来る場で、本学学生であれば、誰でも利用できます。2020年度春学期は授業のオンライン開講に合わせ、オンラインで開室しました。今後も大学の状況に合わせて、英会話サロンを開室していきます。

\*春学期オンライン英会話サロンは7月10日で終了しました。秋学期の開室予定は決定次第ポータルにてお知らせします。

#### ○オンライン英会話サロン利用者の声

- ・先生や他の参加者も優しく、英語ができなくても頑張りたいと思えます!
- ・先生方はとてもフレンドリー! トピックを持ってきてくれるので、沈黙になることもありません!
- ・英語を話す上で必要な、発音と英文の作り方を学んでいます!
- ・授業と違って気楽に楽しく受けられるところが好きです!

## 令和元(2019)年度就職活動総括と今後

就職部長 村上 雅巳

### <令和元(2019)年度 就職活動の総括>

2020年卒の採用活動は、日本経済団体連合会(経団連)の定める指針に沿った採用活動の最後の年として、「広報活動開始時期3月」「選考活動開始時期6月」という従来から続くスケジュールでスタートしました。現時点では、2021年卒以降も政府主導により「当面はこれまでの就活ルールに沿った採用スケジュールを踏襲すること」とされています。とはいえ、経団連がその指針廃止を発表したことをきっかけとして、日本における新卒一括採用の在り方、ひいては「終身雇用」や「年功序列」といった日本独特の人事制度の今後については様々な議論がなされており、明らかに変革期に入ったと言えます。

こうした環境の中でも、企業側の新卒採用ニーズは引き続き高い水準を維持しており、新卒採用市場の難易度を見る指標として代表的な大卒求人倍率(株式会社リクルートワークス研究所発表)によれば、2020年3月卒は「1.83倍」となっています。前年の「1.88倍」より0.05ポイント低下しましたが、2010年以降では2番目の高さであり、相変わらず企業にとっては採用難が続きました。しかし、人手不足が社会問題化する一方で、人工知能AIやロボティクスなど新たな技術の進化によって人の手が不要となる業務も増えており、新卒の採用数を減らすという業界・企業もまた、増加傾向にあります。

特に金融機関をはじめとした女子学生に人気の高かった事務系の職種は、業務効率化により募集人数を大幅に減らしています。本学でも全職種における一般職(事務職)の割合は昨年度に比べ減少し、総合職・営業職・その他専門職等の割合が増加するといった変化が見られました。今後ますます事務系職種のニーズは少なくなり、求められる人物像も、課題解決能力に優れ、より主体的に企業に貢献できる人材へと変わっていくことが想定されます。

そのような中、本学における学生の就職率は全学で97.9%(2020年5月1日現在)で、売り手市と言われた昨年度よりは0.5ポイント下がったものの、全体としては十分健闘した結果となりました。

令和元(2019)年度卒業生の就職実績

単位(人)

学部	学科	卒業生数	求職者数	求職率	就職者数	就職率
文学部	人 文	122	109	89.3%	101	92.7%
	現代文化表現	120	105	87.5%	102	97.1%
	コミュニケーション文化	93	83	89.2%	83	100.0%
	臨床心理	112	81	72.3%	80	98.8%
学部計		447	378	84.6%	366	96.8%
マネジメント学部	マ ネ ジ メ ン ト	167	161	96.4%	158	98.1%
	観光マネジメント	1	1	100.0%	1	100.0%
	生活環境マネジメント	54	52	96.3%	51	98.1%
	学部計	222	214	96.4%	210	98.1%
観光コミュニティ学部	観 光 デ ザ イ ン	149	143	96.0%	143	100.0%
	コミュニティデザイン	36	35	97.2%	35	100.0%
	学部計	185	178	96.2%	178	100.0%
全学合計		854	770	90.2%	754	97.9%
(参考) 前年度 全学合計		900	823	91.4%	810	98.4%

① 就職率…就職希望者に占める就職者の割合。

② 求職者(就職希望者)…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

③ 就職者…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者。

④ 調査時点は令和2(2020)年5月1日現在。

### <今年度 就職活動の見通し> (2020年6月3日現在)

前述の通り、3月の時点では企業の採用意欲は引き続き順調で、業界の特徴による差はあるものの21年卒の就職活動も引き続き堅調に推移するのでは、と言われてきました。ところが、新型コロナウイルスCOVID-19の感染拡大という未曾有の事態により、状況が一変することとなります。企業の急激な業績悪化により、20年卒の一部では、内定が取り消されるケースも報じられました。

そして21年卒の学生の就職活動や企業の採用活動にも多大な影響を与えています。最大の変化は会社説明会および面接選考のオンライン化です。緊急事態宣言の発令により、企業が予定していた対面での採用活動はそのほとんどが実施できない状況になりました。今後もWEB説明会やWEB面接は多くの企業で実施されるとみられ、コロナ禍での就職活動を成功させるためには、こうしたツールを上手に使いこなしていくことが必須となります。このため、4月には急遽、学内でWEB面接対策講座を実施しました。また採用活動を継続する企業と学生との接点を作る機会として、WEBによる学内企業説明会を実施しています。その他、相談やキャリアセミナー等の各種プログラムについてもWEB上で実施し、学生の皆さんが登校できない状況においてもできる限りのサポートを行っています。

㈱マイナビが全国の企業を対象に実施した調査では、82.6%の企業が採用予定数を「当初通り」と回答しており、今後採用活動を再開する予定です。コロナによる直接の打撃を受けた一部の業種では採用活動の中止や採用数抑制などのケースも報じられていますが、多くの企業では、新卒を中長期的な戦略で採用し、すぐに採用を抑制することはありません。特定の業界にとらわれず視野を広く持つことは必要ですが、落ち着いて就活に臨んでほしいと思います。ただし、3年生以下の皆さんは、インターンシップからの早期選考をはじめとして就職活動全般の一層の早期化が予想されます。低学年のうちからできる対策を行い、早めに動くことが大切です。

産業構造や世界情勢が目まぐるしく変化する中、求められるスキルや働き方も大きく変わっていきます。今回の新型コロナウイルスのような想定外の事態を受け、どのような環境においても変化に対応できるようスキルを磨き、自分のキャリアは自分で切り拓いていけるよう考えていきましょう。

## 学生会情報

学生会本部 会長 赤羽 真美

ごきげんよう。夏空がまぶしく感じられる頃となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。学生会会長の赤羽真美です。新型コロナウイルスの影響で活動も制限されていますが、学生会では大学から入構許可がおりましたら、少しでも皆さんが楽しめる行事を企画中です。例年と違い、残念ながら中止になってしまった企画もありますが、できるかぎり実施の方向で検討したいと考えています。また、学生会本部から1年生へ4月末に発送した新入生オリエンテーション冊子はご覧いただけましたか。1年生の皆さんが、学生会活動などでなにか不安に思うことや分からないことがありましたら、大学が再開するまでぜひそちらをご覧ください。皆さんの不安を解消する手助けになれば嬉しく思います。あらためて新学生会もどうぞよろしくお願いいたします。

今後、最初に開催予定となっています行事はポータル上でのクラブ紹介です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年はオンラインでの開催を予定しています。

跡見学園女子大学には、学生会本部をはじめ、委員会や運動部、文化部まで多種多様なクラブ団体が活動しています。委員会やクラブに入部して、横だけではなく縦の繋がりも作りませんか。優しい先輩が、クラブのことだけでなく、授業やアルバイトのことなど、皆さんの相談に乗ってくれるでしょう。オンライン新入生歓迎オリエンテーションを見て、1年生の皆さんと一緒に活動

したいと思える団体が見つかることを楽しみにしています。また、入構許可がおりましたら、学生総会ならびに学長先生との懇話会を開催予定です。特に懇話会では学長先生と直接お話ができる貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。参加が難しいという方にも、意見が届けられるようにポータルなどで案内をしますのをお待ちください。

このような状況ですが、少しでも皆さんの大学生活がより良いものになるよう、精進して参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



## CLUB Now

### 茶道部

部長 岡本 遙か

ごきげんよう。茶道部です。茶道部は毎週月曜日と水曜日の放課後に新座キャンパス1203和室で活動しております。流派は裏千家です。主な活動内容は、春と秋に行われるお茶会に向けてのお点前の練習です。月に2回程、先生にご指導いただきます。また、他大学のお茶会を訪問することもあります。お点前の練習を続けると、就職活動の時にも役に立つ許状をいただくこともできます。

私は大学生になってから茶道を始めました。実際に茶道をやってみると、茶道は多くのことを学べる奥深い世界でした。そして、茶道で学んだことは、社会人になるために必要な礼儀作法として役立つことがわかりました。茶道は少しハードルが高いと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、部員のほとんどが大学から茶道を始められています。私は学生の皆さんに、茶道の魅力を知っていただきたいです。

この記事を読んでくださった学生の皆さん、私たちと一緒に茶道を始めませんか。



## \* 紫祭の中止について \*

紫祭実行委員長 鈴木 叶凜

ごきげんよう。紫祭実行委員会です。例年であれば、この場で紫祭のテーマを発表させていただいておりますが、今年度の紫祭は『中止』といたしましたことをご報告させていただきます。私たち紫祭実行委員会といたしましても断腸の思いではございますが、新型コロナウイルス感染拡大の懸念に加え、活動制限に伴う準備期間不足もあり、最善の状態で開催できないことから、委員会内で話し合いの末、この決断に至りました。楽しみにしていただいていた方々、近隣の皆様、跡見学園女子大学に興味を持っていた高校生の皆様および保護者の皆様、ご協賛企業の皆様には大変申し訳ございません。今回このお知らせをするにあたり、紫祭が多くの皆様に支えていただいていることを改めて実感いたしました。この場をお借りいたしまして、心よりお礼申し上げます。皆様いつも本当にありがとうございます。

来年度は例年以上にパワーアップした紫祭をお届けいたします！



※昨年のもを使用しております。

## 2020年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」

### 研究課題名 「先住民の出稼ぎ労働をめぐる国際移動・国内移動」

文学部人文学科 教授 森谷 裕美子

グローバル化の進展によって世界各地で発生している様々な問題を解決する上で、「人文学・社会科学も何らかの貢献ができる」ないしは「貢献すべきだ」とする意識が高まりつつありますが、こうした状況において本研究では、人の移動に関わる「多文化共生」をめぐる問題について、公共人類学の立場からその可能性を検討します。

私が長年関わっているフィリピンは世界有数の移民送出国で、日本にも近年、多くの農業技能実習生が送られてきていますが、そこには、低地に住む人々から長年、差別・抑圧されてきた先住民も多く含まれるようになりました。彼らにとって日本での出稼ぎ労働は様々な困難を伴いますが、その一方で、送り

出し側ではこうした「国際移動」で得られた資金をもとに、これまで自分たちを差別してきた低地民を出稼ぎ労働者として雇うといった「国内移動」による地位の逆転というユニークな現象が起きています。こうした状況を踏まえ本研究では、フィリピンの先住民の実習生を長年受け入れている日本の団体とその実習生の生活実態、そして、フィリピンで先住民の下で働く低地民の生活状況についての調査を行い、それぞれの移動にどのような問題や課題が見られるのか、こうしたねじれ現象が今後、社会にどのような変化をもたらすのかを明らかにすることで、在日外国人労働者や移民送出国の人々に対する支援のあり方を提言します。

### 研究課題名 「板垣退助の政党論と政党指導」

文学部人文学科 准教授 真辺 美佐

板垣退助は、日本最初の政党・自由党を結成し、その党首となった人物です。また日本で最初の政党内閣は「隈板内閣」と呼ばれますが、その名の通り、板垣と大隈重信の連合によって成立した内閣でした。このように板垣は日本の政党政治において重要な役割を果たした人物ですが、板垣の政治的理念や政党指導に関して、これまで本格的な検討はなされてきませんでした。そのため、立憲政治の確立過程におけるその位置づけや歴史的役割も不明確なままとなっています。

その背景には、板垣自身の一次史料群がまとまって残っていないことがあります。自由民権運動研究や議会史研究のなかで板垣について言及される際にも、後年の編纂史料や板垣と

対立関係にあった人物の史料、さらに真偽の怪しい密偵史料などが、十分な史料批判のないまま使用されてきました。

本研究では、従来の研究で使用されてきた史料を批判的に検討するとともに、各地に点在する周辺人物の一次史料や、板垣の動向や演説内容などに関する新聞雑誌記事を徹底的に調査・蒐集して分析したいと考えております。そのうえで板垣の政治活動を、政党論と政党指導の両側面から検討し、板垣が日本の政党史のなかで果たした役割を再検討し、それを通して見えて来る日本の政党の特質とその変容について考察したいと考えております。

### 研究課題名 「日台あいさつ表現変化モデル構築に関する研究」

文学部コミュニケーション文化学科 准教授 中西 太郎

従来の言語学では、音韻やアクセント、語彙、文法という言語の構造面を対象とする研究が主流であり、運用面での研究が遅れていました。しかし、近年の言語学・日本語学の研究動向を受け、運用面への関心が高まりつつあります。

あいさつの研究もその対象の一つと言えます。しかし、あいさつには、多数の言語に共通して見られる、伝達的な意味を失っていく変化である「定型化」や「交感的機能」など、言語の持つ性質のうち、未解明の部分が多く残されたままになっています。その原因の一端は、従来のあいさつの研究が、地域ごと、言語ごとに使用される形式の差の解明に留まるものが多かったためと分析しています。

本研究は、このような背景を受け、特に、日本語研究の中で発展を遂げてきたあいさつ表現の研究モデルをもって、まず台湾のあいさつ表現の使用実態を明らかにします。さらに、それを基盤にして、「通言語的なあいさつ表現変化モデル」の構築を射程に入れた、日台の通言語的あいさつ表現変化モデルを構築することを目的としています。

本研究によって、通言語的なあいさつ表現の記述手法の確立、及び「あいさつとは何か」という問いへの考察の深化が進むとともに、あいさつ表現の類型論への挑戦が可能になります。

### 研究課題名 「在日コリアンおよび在樺コリアンにおける言語接触・方言接触に関する社会言語学的研究」

文学部コミュニケーション文化学科 准教授 吉田 さち

国外に持ち出された祖国の言語が、外地でどのような変容を遂げているかという観点から、ディアスポラ言語変種に関する社会言語学的研究が諸外国で行われてきました。日本国内のディアスポラ言語の研究はまだ数が少なく、在外コリアンに関するものはほとんど見当たりません。本研究は以上のようなディアスポラ言語研究の一つに位置付けられ、新たに朝鮮・韓国語の事例を提供するとともに理論検証を行うことにより、当該分野の理論構築に寄与することを目指しています。

具体的には、在外コリアンの中でも日本の首都圏およびロシアのサハリン州(かつての「樺太」)在住のコリアンコミュニティ

を対象として、言語・方言接触の結果として生じた①コード・スイッチング、②借用語、③コイナーに関する事例を収集し、社会言語学分野の様々な理論的枠組み(「Matrix Language Frame Model」「Contact-induced borrowing scale」「Founder Principle」等)を検証します。

本研究では2つのコリア系ディアスポラを対象としますが、歴史的な形成過程も現地語も異なる2つのコミュニティを統一した視座から照らすことにより、在外コリアンの言語接触・方言接触のメカニズムの普遍性・個別性について明らかにしたいと考えております。

## 2020年度入試結果

入試部長 齋田 統

2020年度入学試験においては、総志願者数が6,035名(2019年度は5,697名)となりました(昨年度比1.06倍)。6千名の大台に到達すると同時に、4年連続で前年度の総志願者数を上回ることができました。また、入学者数についても、すべての学科において安定的に入学者を確保することができています。

主な特徴は次の通りです(カッコ内は昨年度実績)。

- ①入試種別ごとの志願者数をみると、推薦入試・特別選抜509名(361名)、AO入試495名(357名)、一般入試5,031名(4,979名)と、すべての入試区分で志願者を増やしていますが、推薦入試とAO入試での志願者の伸びが顕著です。一般入試については、本学で試験を受験するA・B・C方式は合計で3,548名(2,650名)である一方、センター利用入試はⅠ期・Ⅱ期・Ⅲ期合計で1,483名(2,329名)となりました。
- ②学部別に志願者数をみると、文学部2,527名(2,278名)、マネジメント学部1,426名(1,340名)、観光コミュニティ学部1,227名(1,225名)、心理学部855名(854名)となっております。昨年度比でみると、文学部が1.11倍、マネジメント学部が1.06倍、観光コミュニティ学部と心理学部が1.00倍となり、文学部の志願者の伸びが目立ちます。
- ③入学者数は全学部合計で1,102名(1,246名)と昨年度より減少していますが、入学定員に対して1.14倍の入学者数となりました。

以上の通り、2020年度入学試験が好調な結果となったのは、近年の各大学での入学定員厳格化による合格者数の抑制の動きが背景にあります。それと同時に本学の教育内容が一段と評価された結果であると考えております。

## 2021年度入試概要

本学の2021年度入試は、下記のとおりになります。

## 総合型選抜(旧AO入試)

総合型選抜は、高校までの学習や活動実績、大学入学の意欲・目的意識および基礎学力を総合的に評価する専願の選抜方式です。

## ■ 選抜方法

- ・Ⅰ期・・・筆記試験(小論文)、面接(書類審査含む)
- ・Ⅱ期・・・レポート(講義受講後に作成)、面接

## 学校推薦型選抜(旧推薦入試)

学校推薦型選抜は、学校長の推薦をもとに、基礎的・総合的な学力と入学意欲・目的意識を中心に評価する専願の選抜方式です。いずれも、高等学校での成績の基準(評定平均値基準)があります。

## ■ 選抜方法

- ・指定校推薦入試・・・筆記試験(小論文)、面接
- ・公募推薦入試・・・筆記試験(小論文)、面接、調査書(評定)
- ・跡見校友子女推薦入試・・・筆記試験(小論文)、面接、調査書(評定)

## 一般選抜

一般選抜は、本学独自の学力試験による一般入試と大学入学共通テストの成績を利用して判定を行う大学入学共通テスト利用入試の2種類に分かれます。

## ■ 試験科目

- ・一般入試A日程・・・①国語 ②英語 ③日本史、世界史、数学のうちから1科目選択
- ・一般入試B日程・・・国語 英語
- ・一般入試C日程・・・国語 英語
- ・共通テスト利用入試Ⅰ期～Ⅲ期・・・①国語 ②外国語 ③地理歴史・公民、数学、理科のうちから高得点の1科目

## 2020年度入学試験結果

## ●学部1年次

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数
文	人文	160	1,127	1,109	479
	現代文化表現	120	827	799	250
	コミュニケーション文化	110	573	564	346
	学部計	390	2,527	2,472	1,075
マネジメント	マネジメント	180	1,109	1,078	579
	生活環境マネジメント	80	317	309	148
	学部計	260	1,426	1,387	727
観光コミュニティ	観光デザイン	120	777	763	253
	コミュニティデザイン	80	450	436	287
	学部計	200	1,227	1,199	540
心理	臨床心理	120	855	830	303
	学部計	120	855	830	303
合計		970	6,035	5,888	2,645

## ●学部3年次

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数
文	人文	若干名	0	0	0
	現代文化表現	若干名	2	2	1
	コミュニケーション文化	若干名	5	5	3
	学部計	—	7	7	4
マネジメント	マネジメント	若干名	4	4	2
	生活環境マネジメント	若干名	0	0	0
	学部計	—	4	4	2
観光コミュニティ	観光デザイン	—	1	1	1
	コミュニティデザイン	若干名	1	1	1
	学部計	—	2	2	2
合計		—	13	13	8

## ●大学院

研究科	専攻	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数
人文科学	日本文化	8	2	2	1
	臨床心理学	12	53	52	15
	研究科計	20	55	54	16
マネジメント	マネジメント	10	4	3	1
	研究科計	10	4	3	1
合計		30	59	57	17

跡見校友子女  
推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生<跡見学園女子大学、跡見学園短期大学(跡見学園女子大学短期大学部)、跡見学園高等学校の卒業生>の子女を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

\* 入学金については**半額免除**いたします。

\* 出願をご希望の方は、一度入試課(048-478-3338)までご連絡ください。



## ◆ 行事予定 ◆

7月	13日(月)~18日(土)	授業評価期間
	20日(月)~22日(水)	補講期間
	25日(土)~31日(金)	春学期定期試験期間
8月	1日(土)	定期試験予備日・追試験日
	3日(月)~31日(月)	夏季休業日(集中講義等有)
9月	1日(火)~26日(土)	補講期間
	12日(土)・14日(月) 28日(月)・29日(火)	秋学期オリエンテーション期間
	18日(金)・19日(土) 25日(金)・26日(土)	学生定期健康診断(文京キャンパス)
	25日(金)	9月期卒業式
	1日(木)	秋学期授業開始
10月	1日(木)~3日(土) 5日(月)	1次履修登録申請期間
	8日(木)・9日(金)	2次履修登録申請期間
	13日(火)・14日(水)	履修登録訂正期間
12月	14日(月)~21日(月)	卒論提出期間
	28日(月)~1月7日(木)	冬季休業

\*上記は予定であり、今後変更の可能性がります。

## 本学の正規の授業を受けてみませんか? (科目等履修生についてのご案内)

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から“科目等履修生”の制度を設けています。

この制度は、本学の授業科目の一部を本学の学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合に正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上、本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円/1学期、及び科目等履修料10,000円(卒業生は5,000円)/1単位となっています。

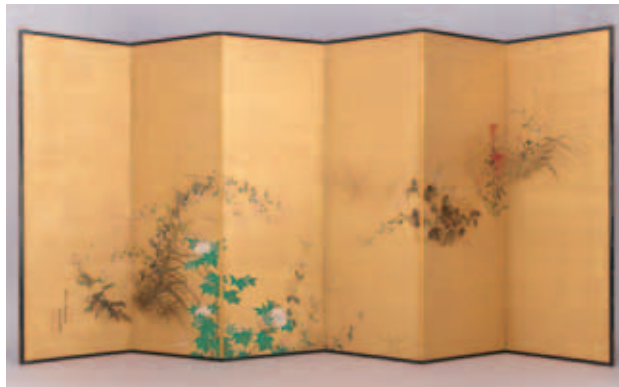
本年度秋学期の募集案内は、7月中旬頃、大学のホームページに掲載します。詳しくは、教務部教務課 (Email d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp または Tel 03-3941-7420) までお問い合わせください。

## 資料館コレクション

### 秋草図屏風

跡見花蹊(1840-1926)

制作年 明治38(1905)年 絹本金地着色 六曲一隻



款記：明治三十八年盛夏月 花蹊跡見瀧寫  
印記：姓名印 跡見多喜 雅号印 華蹊

本屏風絵の特徴は大きく三つあります。

その一つが構図です。六曲一隻屏風は右端を第一扇、左端を第六扇と数えますが、ここでは観者の視線は第六扇から第一扇へ、すなわち左から右へと誘導されます。第六扇(左端)下部の薊(あざみ)を起点とする画面右への流れは、第五扇と第四扇の薄(尾花)と萩が描く弧線に沿って上昇し、第三扇中段の桔梗へとつながったのち第二扇の鶏頭を経て第一扇右上部の藤袴に到達するのです。このゆるやかな円弧の結びつきに導かれ、観者の視線は左下から右上へと向かうこととなります。

この構図におとらず重要なのが繊細優美な着彩の妙です。例えば、第六扇の薊の赤紫と第二扇の鶏頭の赤、第五扇・第四扇の芙蓉の白と第一扇の藤袴の薄紫がかかった白が呼応し合い、ちょうど飛び石の雁掛けのように、途切れつつ連続して一定方向への動線を生みだしているのです。結果として、左から右への構図の流れを色彩の面で強化しています。これが第二の特徴です。

以上の二つの特徴は、仔細に見ていくとはじめて了解されるものですが、三番目の特徴は誰の目にもあきらかです。絢爛たる金箔地にほかなりません。円山派流の綿密な花鳥画や外形的な写実を離れた山水画が多数を占める花蹊絵画のなかにあつて、《秋草図屏風》はこの金箔の使用によって別格の位置を占めることとなります。本図から江戸琳派の創始者・酒井抱一の《月に秋草図》(文化14[1817]年以降)が想起されますが、花蹊はじつは琳派の優れた理解者であった可能性も否定できないところです。

金箔地を背景に卓抜な構図と洗練された着彩によって咲き匂うとりどりの草花を描いた本図は、まさに花蹊の新境地を示す貴重な作例と言えるでしょう。

(花蹊記念資料館館長 村田 宏)

文京キャンパス  
〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2  
(電話) 03-3941-7420

新座キャンパス  
〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6  
(電話) 048-478-3333

<http://www.atomi.ac.jp/univ/>